



本物の力士に触れて



福岡で大相撲九州場所に向けて稽古に励んでいたしころやま鑑山親方（元寺尾関）と弟子4人が11月6日、坂梨小学校（星山晃校長）を訪れました。同校では、放課後子ども教室の一環として、日本の国技である相撲界から本物の力士を迎えて体験学習を企画。早速、相撲部保護者（佐藤博文代表）が知り合いを通じてしころやま鑑山部屋（弟子22人）に打診し、9月末に改修を終えた相撲道場のこけら落としとして実現したものです。

相撲道場では、相撲部員をはじめ全校児童（95人）と坂梨保育園児を前に、基本動作、模範稽古、かかり稽古など大きな体とぶつかり合う取り組みが披露され、歓声に包まれました。

子どもたちに、内牧温泉街で、楽しい思い出をつくってあげようと、ホテル旅館の女将さんでなる「阿蘇女将ゆうすげ会」や内牧商店街の皆さんが、10月31日、ハロウィンの催しを行いました。今年で2年目ですが好評で、今回は100人超が参加しました。

催しでは仮装コンテストが開かれ、お化けに扮した子どもたちをハロウィンの飾りつけをしたミステリーバスがお出迎え。ホテルやお店を回って、お菓子をもらうツアーがスタート！たくさんのお菓子と商店街の皆さんの優しい笑顔に迎えられ、いつもの商店街が『夢のまち』に大変身した一日でした。

内牧温泉街でハロウィンの催し



近隣協力し初期消火訓練



大和ハウス工業株式会社は、同社が宮地に分譲するロイヤルシティ阿蘇一の宮リゾート（97世帯）の住民を対象に、初期消火訓練を行い、万一の火災に備えました。訓練は、11月7日、天ぷら油火災を想定し行われ、参加した住民は、阿蘇消防本部の指導を受けながら真剣に取り組み、また、消火器を使った消火なども体験しました。同リゾート地では、今後も定期的に訓練を行っていくそうです。

火を多く使う季節となりました。皆さんのご家庭でも火災を出さないよう注意しましょう。

山道に案内板を設置



阿蘇一の宮ライオンズクラブ（井春喜会長）の皆さんが、坂梨（国道265号）から根子岳の登山道「釣井ルート」に行くまでの林道に、道しるべとなる案内板を設置し、登山者への心配りと安全を図りました。設置は、10月7日、登山愛好家の釣井賢さんらライオンズのメンバーで行い、穴を掘り5つの案内板を取りつけました。このルートは釣井さんが10年前に開かれた根子岳への道で、よって「釣井ルート」と命名。同クラブが日頃から草刈りなどの維持管理を行い大切にされています。